

明治美術学会 会員業績録
(2011年4月1日～2012年3月31日)

この秋、会員に対し2011年4月1日～2012年3月31日の間に発表した主要論文等3点以内の報告を依頼した。以下がそのリストである。
なお、よせられたもののうち上記期間以後のものは省いた。リストの作成は奥間政作がおこなった。

名前	共著者等	論文名／書名	掲載誌／掲載書	発行	巻号	刊行年月
青木茂		油絵初学 明治十年前後	『近代画説』	明治美術学会	20号	2011年12月
青木茂		新・旧刊案内46～49	『一寸』	学藝書院	46～49号	2011年5、8、11、2012年2月
天野一夫		天心一大観・春草における西洋近代美術史観(下)	『豊田市美術館紀要』	豊田市美術館	No.5	2012年3月
天野一夫		近代画家にとっての東アジア	『豊饒の日本美術—小林忠先生古稀記念論集—』	藝華書院		2012年3月
荒井経	杉本史子、他五名	絵画学入門		東京大学出版会		2011年7月
荒井経		日本画と和紙—壁画用紙の系譜	『和紙に魅せられた画家たち』展図録	明治神宮		2011年10月
荒木慎也		太平洋を渡る石膏像 ポストン美術館から東京美術学校への輸送記録	『近代画説』	明治美術学会	20号	2011年12月
池田博子(横山大観記念館)		『美術会主催表装競技会と表装研究会について』	『横山大観記念館館報』	横山大観記念館	27号	2011年12月
石井元章		『川村清雄』	『明治時代史大辞典』	吉川弘文館	第1巻	2011年11月
出光佐千子		池大雅による光の描写と黄檗美術—黄檗山萬寿院蔵「書画禅冊葉」の体験	『出光美術館研究紀要』	出光美術館	17号	2012年1月
出光佐千子		池大雅と立原杏所の理想像—杏所に流れる大雅風の検証	『豊饒の日本美術—小林忠先生古稀記念論集—』	藝華書院		2012年3月
出光佐千子	松本育代、彬子女王	池大雅筆『瀟湘八景図』研究—詩画一致の鑑賞方法から—	『風俗絵画の文化学Ⅱ—虚実をうつす機知』	思文閣出版		2012年3月
稲賀繁美		《La Pensée plastique et le statut social des arts et métiers au Japon face à la modernité (1900-1927)》『二十世紀第一—四半世紀日本における工藝の社会的地位と工藝的思考』	『Cross Sections』	京都国立近代美術館	Vol.4	2012年2月
稲賀繁美		Crossing Axes:Orientalism and Occidentalism in Modern Visual Representations of Manchukuo (1931-1945)	Evgeny Steiner ed., 『Orientalism/Occidentalism: Languages of Cultures vs. Languages of Description』			2012年3月
稲賀繁美		『東洋意識 夢想と現実のあいだ 1887-1953』		ミネルヴァ書房		2012年3月
岩切信一郎		橋口五葉—装飾美術の軌跡—	『生誕130年・橋口五葉展』	東京新聞		2011年6月
岩切信一郎		鈴木錦泉—明治講談本木版口絵随一の画家—	『一寸』	学藝書院	第48号	2011年11月
岩切信一郎		メディアとしての口絵版画	『版画芸術』	阿部出版	第155号	2012年3月
植田彩芳子		マルク・シャガールと近代日本	『シャガール展2012—愛の物語—』展図録	高知県立美術館・他		2012年2月
植田彩芳子		黒田清輝筆《昔語り》と京都	『京都文化博物館研究紀要 朱雀』	京都文化博物館	24	2012年3月
植野健造		『日本洋画最初期の裸婦像—百武兼行《臥裸婦》』	『東京国立近代美術館ニュース 現代の眼』	東京国立近代美術館	第590号	2011年10月
植野健造		『没後100年記念 美に殉じた鬼才、青木繁からの遺言—芸術における完成と未完成—』	『日本藝術の創跡』	世界文藝社	第16号	2011年10月
植野健造		『官展系洋画の研究—岡田三郎助と和田英作—』	『鹿島美術研究年報』	(財) 鹿島美術財団	第28号別冊	2011年11月
歌田真介		視覚型と触覚型	『近代画説』	明治美術学会	20号	2011年12月
江川佳秀		芸文指導要綱と旧満洲国における美術の統制	『鹿島美術研究年報』	(財) 鹿島美術財団	第28号別冊	2011年11月

江川佳秀		徳島県立近代美術館所蔵 山下菊二作品目録 (平成23年3月受贈)		徳島県立近代美術館		2012年3月
江川佳秀		発掘—画家・山下菊二の東宝争議ドキュメント	『芸術新潮』	新潮社	第748号	2012年3月
恵美 千鶴子		江戸時代の出版物における古筆鑑賞の普及と展開—『円鶴図譜』の「岡寺切」を発端として—	『MUSEUM』	東京国立博物館	631号	2011年4月
恵美 千鶴子		平家納経に魅せられた人々1、2	『BIO CITY』	ブックエンド	49・50号	2011年12月・2012年3月
及川茂		The Caricature of Kawanabe Kyosai	『UKIYO-E CARICATURES』	Beitrag zur Japanologie, Wien		2011年
及川茂		Les Maisons de thé au Japon	『Le Frisson esthétique』	Edition du Frisson esthétique	No.11	2011年春夏号
及川茂		Georges Bigot et le salon des beaux-arts à l'Exposition intérieure de Kyoto	『Efficacit_/Efficacy』	Rodopi, Amsterdam & New York		2011年8月
大谷省吾		「古賀春江の《海》はどこ海？」	『現代の眼』	東京国立近代美術館	588号	2011年6月
大谷省吾		「日本におけるキュビズムの受容」	『ふらんす』	白水社	86巻7号	2011年7月
大谷省吾		「文筆家としての瑛九」	『生誕100年 瑛九展』 カタログ	宮崎県立美術館、埼玉県立近代美術館、うらわ美術館		2011年7月
大谷芳久		時に抗いし者たち—私の小菩薩峠 (2)	『一寸』	学藝書院	第46号	2011年5月
大谷芳久		時に抗いし者たち—私の小菩薩峠 (3)	『一寸』	学藝書院	第47号	2011年8月
大谷芳久		時に抗いし者たち—私の小菩薩峠 (4)	『一寸』	学藝書院	第48号	2011年11月
岡本隆志		宮川香山の1900年パリ万博	『三の丸尚蔵館年報・紀要』	宮内庁	第17号	2012年3月
奥間政作		戦 (いくさ) は描かれたか—米軍統治下 (アメリカ世) における沖縄戦の記憶—	『記憶の痕跡—WIJLC報告—』	早稲田大学国際日本文学・文化研究所		2011年9月
奥間政作		沖縄と近代美術—琉球処分から終戦期までの来沖画家と沖縄出身画家にみる基礎調査—	『鹿島美術研究年報』	(財) 鹿島美術財団	28号別冊	2011年11月
尾崎有紀子		"Poèmes de la libellule e d'Annunzio: Nuovi documenti di Ota occidentale"	『Rassegna dannunziana』	Centro nazionale di studi dannunziani	59/60	2011年12月
尾崎有紀子		大正期国定国語教科書にあらわれた「クオール」翻案—「長き行列」と「中村君」を中心に—	『早稲田大学イタリア研究所研究紀要』	早稲田大学日欧研究機構 イタリア研究所	創刊号	2012年3月
五十殿利治		「「愚人と」と「天才」、劉生に出会う—恩地孝四朗、村山知義との出会い」	『別冊太陽』	平凡社	186号	2011年6月
五十殿利治		「もうひとつの『日本美術年鑑』—『The Year Book of Japanese Art 英文日本美術年鑑』について」	『昭和初期美術年鑑集成10 英文日本美術年鑑一九三—一九三二年・解説』	ゆまに書房		2011年9月
金子一夫		工部美術学校における図画手本—バルグ『図画教程』について	『一寸』	学藝書院	46号	2011年5月
金子一夫	小口あや、鈴木敦子、中川知子	美術教育における方法論的前提としての言語	『茨城大学教育実践研究』	茨城大学教育実践研究センター	30号	2011年10月
金子一夫		大正・昭和戦前期全国中等学校図画教員の総覧的研究 (1) (2)	『茨城大学教育学部紀要 (教育学部科学)』	茨城大学教育学部	61号	2012年3月
河上眞理	清水重敦	「辰野金吾の見たフランス—『辰野金吾滞欧野帳』 解題—その2」	『日本建築学会大会学術講演梗概集』 F-2 建築歴史・意匠	社団法人日本建築学会		2011年8月
河上眞理		「辰野金吾のグランド・ツアー —『辰野金吾滞欧野帳』を中心に—」	『京都造形芸術大学紀要 GENESIS 15 2010』	京都造形芸術大学		2011年10月
河上眞理		「アントニオ・ベルッチのイギリス時代の下絵—旧松方コレクション2作品の作者の同定—」	『国立西洋美術館研究紀要』	国立西洋美術館	NO.16	2012年3月
河田明久		「戦争画と宮本三郎」	『平成22年度 世田谷美術館分館 宮本三郎記念美術館 展覧会・講座室活動報告書』	世田谷美術館		2011年7月

河田明久		「阪急西宮球場の博覧会空間—支那事変聖戦博覧会からアメリカ博覧会へ」	『記憶の痕跡—WIJLC報告』	早稲田大学国際日本文学・文化研究所		2011年9月
河田明久		「戦争と美術—中村研一を通して見る」	『小金井市立はげの森美術館 年報 平成18年度-22年度 別冊 シンポジウム集』	小金井市立はげの森美術館		2012年3月
川西由里		資料紹介 鳥取県立石見美術館所蔵 大下藤次郎日記 (第5回)	『鳥根県立石見美術館 研究紀要』	鳥根県立石見美術館	第6号	2012年3月
喜多孝臣		「プロレタリア美術をひらく—福田新生のプロレタリア美術」	『美術運動史研究会ニュース』	美術運動史研究会	118号	2011年6月
喜多孝臣		『美術批評家著作全集14巻 プロレタリア美術運動』		ゆまに書房		2011年12月
木田拓也		「増田三男 命ある模様を刻む」	『増田三男 清爽の彫金—そして、富本憲吉』展カタログ	東京国立近代美術館・早稲田大学會津八一記念博物館		2011年5月
木田拓也		「国井喜太郎の固有工芸論：1930年代における『日本的なもの』とモダンデザイン」	『デザイン史学』	デザイン史学研究会	第9号	2011年7月
木田拓也		「原弘と東京国立近代美術館：デザインワークを通して見えてくるもの」	『原弘と東京国立近代美術館：デザインワークを通して見えてくるもの』展カタログ	東京国立近代美術館		2012年2月
木下直之		ある日の日清戦争—東京市祝捷大会参加レポート	『究』	ミネルヴァ書房	創刊号～	2011年4月～連載中
木下直之		台湾戦争図再々考	『近代画説』	明治美術学会	20号	2011年12月
木下直之		股間若衆—男の裸は芸術か		新潮社		2012年3月
久世夏奈子		「國華」にみる新来の中国絵画—近代日本における中国美術観の一事例として—	『國華』	國華社	第1395号	2012年1月
呉孟晋		ある外交官が見た中国近代絵画—須磨弥吉郎の東西美術批評を手がかりに	『アジア遊学』	勉誠出版	第146号	2011年10月
呉孟晋	西上実	『中国近代絵画と日本』特別展覧会図録		京都国立博物館		2012年1月
呉孟晋		構成された「現代の文人」—「郎静山の写真」展	『美術手帖』	美術出版社	第962号	2012年1月
桑原規子		Onchi Koshiro and Western Art	『Japan in Sydney: Professor Sadler & Modernism 1920-30's』	University Art Gallery, The University of Sydney		2011年4月
河野元昭		森狙仙筆鳥骨鶏図	『國華』	國華社	第1392号	2011年10月
河野元昭		応挙にみる伝統と革新	『聚美1』	青月社	第1号	2011年10月
河野元昭		光悦試論1～6	『茶の湯』	茶の湯同好会	452号～457号	2011年10月～2012年3月
児島薫		「藤島武二の女性像—油彩画の伝統を求めて」	『藤島武二・岡田三郎助展』	そごう美術館、ひろしま美術館、三重県立美術館、日動美術財団		2011年7月
児島薫		「藤島武二研究拾遺—「天平時代」および「東洋」の表現について」	『近代画説』	明治美術学会	20号	2011年12月
児島薫		「奥原晴湖筆 春色嬌艶図」	『國華』	國華社	1397号	2012年3月
蔡家丘		「東アジアを旅する日本人画家と「水路風景画」」	『芸術学研究』	筑波大学大学院人間総合科学研究科	第16号	2011年11月
斉藤全人		「近代の画帖 明治から昭和まで」	『ひろげる、たのしむ、小粋な日本画—近代画帖の美』室内庁三の丸尚蔵館展覧会図録	宮内庁		2011年7月
斉藤全人		「川端玉章[四時ノ名勝]について—当初の屏風形式から探る制作意図—」	『三の丸尚蔵館年報・紀要』	宮内庁	第17号	2012年3月
齊藤祐子		「昭和初期美術年鑑について—美術番付から年鑑へ」	『昭和初期美術年鑑集成』10巻『英文日本美術年鑑—九三—三二』	ゆまに書房		2011年9月
齊藤祐子		「近代日本彫刻と批評」	美術批評家著作選集第13巻『近代日本彫刻と批評』	ゆまに書房		2011年12月

迫内祐司		『裸体作品問題講演集』を読む	『美術運動史研究会ニュース』	美術運動史研究会	No.121	2011年9月
迫内祐司		『来日130周年 宇都宮美術館コレクションによるジョルジュ・ピゴーと日光』(編)		小杉放庵記念日光美術館		2011年12月
迫内祐司		北村四海とその周辺④～④	『信濃毎日新聞』	信濃毎日新聞社		2011年4月～2012年3月第一金曜日(5月休刊)
佐藤志乃(横山大観記念館)		『明治時代と「朦朧」』	『没後100年 菱田春草展』図録	長野県信濃美術館		2011年9月
佐藤志乃(横山大観記念館)		『大正期の紙本墨画と岩野平三郎』	『和紙に魅せられた画家たち』展図録	明治神宮文化館宝物展示室		2011年10月
佐藤志乃(横山大観記念館)		『日本美術院と文壇との接点—博文館の口絵・挿絵の仕事について—』	『横山大観記念館館報』	横山大観記念館	27号	2011年12月
猿渡紀代子		Paul Jacoulet, maître de l'ukiyo-e, images d'un monde éphémère	『Nouvelles de l'Estampe』	Comité national de la gravure française	No.236	2011年9月
塩谷純		大村西崖と朦朧体	『平成21-23年度科学研究費補助金基盤研究(C)研究成果報告書 大村西崖の研究』	東京文化財研究所		2012年3月
敷田弘子		型而工房における大量生産の方法論(アンヌ・ゴッソ)	『家具道具室内誌』	家具道具室内史学会	3号	2011年5月
敷田弘子		一九三〇年代前半の日本における銅管家具に関する文献資料	『家具道具室内誌』	家具道具室内史学会	3号	2011年6月
敷田弘子		松戸にあった千葉大学工学部の話—戦後デザイン歩みの歩みとともに	『松戸の美術100年史』展図録	松戸市教育委員会		2011年10月
重村幹夫		油画技法書『油繪山水訣』と『油繪楷梯』との関係について	『大学美術教育学会誌』	大学美術教育学会	44号	2012年3月
篠原聰		錦木清方を《曲亭馬琴》第一回文部省美術展覧会の落選画に関する一考察	『近代画説』	明治美術学会	20号	2011年12月
篠原聰	江水是仁	ポスト・ミュージアムの展示空間のありかたをめぐって—ランプミュージアム(大乘寺)の事例に探る—	『東海大学過程資格教育センター論集』	東海大学過程資格教育センター	10号	2012年3月
清水恵美子		岡倉覚三とインド—転回点としての渡印	『茨城大学人文科学研究』	茨城大学人文学部	3号	2011年12月
清水恵美子		岡倉天心の比較文化史的研究—ボストンでの活動と芸術思想		思文閣出版		2012年2月
清水恵美子		岡倉覚三の五浦時代—インド・ボストン・茨城の視点から	『LOTUS』	日本フェノロサ学会	32号	2012年3月
白政晶子		『美術批評家著作選集 第12巻 板垣鷹穂』		ゆまに書房		2011年12月
菅原真弓		『謎解き浮世絵叢書 月岡芳年「和漢百物語」』		二玄社		2011年7月
菅原真弓		『京都造形芸術大学所蔵浮世絵コレクションについて』	GENESIS(京都造形芸術大学研究紀要)	京都造形芸術大学	11	2011年10月
菅原真弓		『大学における博物館学教育-資格の有用性をめざして-』	『豊穡の日本美術 小林忠先生古希記念論文集』	藝華書院		2012年3月
鈴木廣之		The Buddha of Kamakura and the "Modernization" of Buddhist Statuary in the Meiji Period	『Transcultural Studies』	ハイデルベルク大学	No.1	2011年
鈴木廣之	研究代表者 金田千秋(筑波大学)	仏像の「近代」—鎌倉大仏の評価史から—	『科学研究費基盤研B(一般)文化遺産としての大衆的イメージ—近代日本における視覚文化の美学美術史学的研究—』報告書			2012年3月
鐺木道剛		『国吉康雄論:東西<美術>の融合から<美術>の否定へ』	『東西宗教交流史における表象観念と文化』	岡山大学文学部		2012年3月
春原史寛		浅川兄弟の生涯	『浅川巧生誕120年記念 浅川伯教・巧兄弟の心と眼—朝鮮時代の美』展図録	美術館連絡協議会		2011年4月
春原史寛		『縄文』は「芸術」か—岡本太郎の「縄文土器論」	『第29回特別展 縄文土器名宝展—縄文芸術の到達点—』展示図録	山梨県立考古博物館		2011年9月
杉江京子		『幼学綱要』挿画成立事情考:松本楓湖・五姓田芳雄・月岡芳年との関わりをめぐって	『美術史研究』	早稲田大学美術史学会	第49冊	2011年3月

[明治美術学会 会員業績録 2011年4月1日～2012年3月31日]

関根佳織		狩野晴卓研究 序	『下関市立美術館研究紀要』	下関市立美術館	13号	2012年3月
瀬谷裕美		教材としての石膏像生産・流通と伝播—明治10年代から大正末まで—	『美術教育学』	美術科教育学会	第33号	2012年3月
泰井良		江戸から東京へ—「変わる風景」「変わらない風景」	芸術の花開く都市展図録	静岡県立美術館		2011年7月
泰井良		京都・大阪・神戸—それぞれの都市と芸術—	芸術の花開く都市展図録	静岡県立美術館		2011年7月
高木博志	板垣竜太他	桜	板垣竜太他編『東アジアの記憶の場』	河出書房新社		2011年4月
高木博志		皇室の神仏分離・再考	明治維新史学会編『明治維新史研究の今を問う』	有志舎		2011年7月
滝沢恭司		イメージの探索者 駒井哲郎	『駒井哲郎1920-1976展図録』	東京新聞		2011年4月
滝沢恭司		日本現代版画の歴史—今と明日を考えるために	『2011 亞洲現代版画專題論文集』	国立台北藝術大学 閔渡美術館		2012年1月
滝沢恭司		小英雄はスタイリッシュ—ファッションに見るマヴォイスト村山知義の近代性	『村上知義の宇宙展図録』	読売新聞社・美術館連絡協議会		2012年2月
高階絵里加		「高橋由一《山形市街図》と江戸名所絵」	『人文学報』	京都大学	101号	2011年3月
高階絵里加		作品解説「幸野樸嶺《秋日田家図》」	『國華』	國華社	1394号	2011年12月
立花義彰		長船恒利氏	『長船恒利追悼文集』	長船恒利追悼展実行委員会		2011年12月
立花義彰		静岡近代美術表稿 昭和編2	『静岡県博物館協会紀要』	静岡県博物館協会	35号	2012年3月
田中修二		「彫刻の息づかい——朝倉文夫の「自然」	『朝倉文夫の世界』展覧会図録	豊後大野市、朝倉文夫記念館		2011年10月
田中修二	Thomas Rimer (編) Toshiko McCallum (翻訳)	『Sculpture』	『Since Meiji : Perspectives on the Japanese Visual Arts, 1868-2000』	University of Hawaii Press		2011年12月
田中修二	大坪潤子、齊藤祐子、迫内祐司、篠崎未来、篠原聡、藤井明、藤曲隆哉、藤原由利、本郷孝衣、本橋浩介、吉田朝子	『近代日本彫刻集成 第二巻 明治後期・大正編』		国書刊行会		2012年1月
田中秀隆		「茶道」	『にほんのかたちをよむ事典』	工作社		2011年12月
田中秀隆		『茶の本』入門—歩前①～⑫	『茶道の研究』	(財)三徳庵	665～676	2011年4月～2012年3月
丹尾安典		灰を風に飛ばして—富本憲吉と増田三男	『増田三男 清爽の彫金—そして、富本憲吉』展図録	東京国立近代美術館・早稲田大学會津八一記念博物館		2011年5月
丹尾安典		戦後の天皇イメージをめぐって	『記憶の痕跡—WIJLC報告』	早稲田大学国際日本文学・文化研究所		2011年9月
丹尾安典		『国家余芳』写真帖解説	『近代画説 20号 別冊 国家余芳写真帖』	明治美術学会		2011年12月
千葉慶	山崎明子他	男性優位のジェンダー秩序の再編/強化	『ひとはなぜ乳房を求めるのか 危機の時代のジェンダー表象』	青弓社		2011年8月
千葉慶		『アマテラスと天皇〈政治シンボル〉の近代史』		吉川弘文館		2011年11月
千葉慶		複数に開かれるテキストの可能性について	『本郷』	吉川弘文館	No.97	2012年1月
角田拓朗		「ワーグマンが見た海—洋の東西を結んだ画家」展図録		神奈川県立歴史博物館		2011年6月
角田拓朗		「チャールズ・ワーグマンの個人様式の具体像を問う」	『鹿島美術研究年報』	(財)鹿島美術財団	28号別冊	2011年11月
角田拓朗		「新出の五姓田義松関係資料について—肖像・風景・実像—」	『近代画説』	明治美術学会	20号	2011年12月

中島朋子		「日本の陶磁器産業の『工業』化の成立と進展：戦間期の名古屋製陶所を事例に」	『近代陶磁』	近代国際陶磁研究会	第12号	2011年6月
中島朋子		「明治期におけるジュエリー文化の受容」	『美術運動史』	美術運動史研究会	第122号	2011年10月
中村麗子		上村松園の作品における落款について（資料紹介）	『東京国立近代美術館 研究紀要』	東京国立近代美術館	16号	2012年3月
新聞公子		『ゴッホ 契約の兄弟—フィンセントとテオ・ファン・ゴッホ』		株式会社 ブリュック		2011年11月
西恭子		日本美術学校について～公文書にみられる学校運営：大正7年から昭和16年～	『東洋大学人間科学総合研究所紀要』	東洋大学人間科学総合研究所	14	2012年3月
芳賀徹		「夏目漱石の絵画傑作」	『アステイオン』（サントリ—文化財団）	阪急コミュニケーションズ	No.76	2012年3月
橋本久美子	津上智実、大角欣矢	「ピアニスト小倉末子と東京音楽学校」		東京藝術大学出版会		2011年10月
林洋子		『藤田嗣治 本のしごと』		集英社		2011年6月
原舞子		うつりゆくもの／イケムラレイコの世界	『イケムラレイコ うつりゆくもの展』 図録	東京国立近代美術館・三重県立美術館		2011年8月
原田平作		20世紀末をかざった芝田米三の油彩画展観	『視覚の現場・四季の結び』	醍醐書房	9号	2011年6月
原田平作		クールで知的な具象絵画で魅する三尾公三の美術史的な位置、「現代へのまなざし・三尾公三展」	『視覚の現場・四季の結び』	醍醐書房	10号	2011年10月
原田平作		近代日本美術史における画家・漫画家・挿絵家—浅井忠・柳瀬正夢・真鍋博の場合—	『美術フォーラム21』	美術フォーラム21刊行会／醍醐書房	24号	2011年11月
福江良純		石井鶴三の立体造形理論 — 島崎藤村像制作過程の検証を通して—	『デザイン理論』	意匠学会	第58号	2011年11月
福江良純		石井鶴三の立体理論と美術解剖学	『美術解剖学雑誌』	美術解剖学会	Vol.15 No.1	2011年12月
舟木力英		「小川芋銭の『千鳥』—偶感」	『茨城県近代美術館だより』	茨城県近代美術館	No.90	2011年9月
舟木力英		「小川芋銭の作品—主題と画賛の一考察」	『小川芋銭展—震災後の眼で、いま—』	茨城県近代美術館		2012年3月
古田亮		香りと日本文化	『香り かぐわしき名宝』 展図録	日本経済新聞社		2011年4月
古田亮		藤田嗣治（レオナルド・フジタ）と日本画	『近代画説』	明治美術学会	20号	2011年12月
三浦篤		「選択的摂取としての受容」	『美術フォーラム21』	醍醐書房	23号	2011年5月
三浦篤		「知られざる印象派 — 近年の研究をめぐる一考察—」	『光を描く印象派展 — 美術館が解いた謎—』 図録	青森県立美術館		2011年7月
三浦篤		『吉野石膏美術財団作品目録、日本絵画編』		公益財団法人吉野石膏美術財団		2012年3月
三上美和		「原三溪と細川護立の美術蒐集—近代工芸との関わりを中心に」（共著）	『豊饒の日本美術 小林忠先生古稀記念論集』	藝華書院		2012年3月
宮下規久朗		『フェルメールの光とラ・トゥールの焰—闇の西洋絵画史』		小学館		2011年4月
宮下規久朗		『知っておきたい世界の名画』		角川学芸出版		2012年1月
宮下規久朗		『ヌードの美術史』（美術手帖編）		美術出版社		2012年3月
宮本高明		『山口薫全作品集』		求龍堂		2011年7月
村角紀子		「小川—眞」、亀井慈明」	『明治時代史大辞典』	吉川弘文館	第1巻	2011年11月
村角紀子		「藤岡作太郎と『古画備考』—明治期における江戸の書画情報の受容—」	『近代画説』	明治美術学会	20号	2011年12月
森登		中伊三郎の銅版画	『一寸』	学藝書院	48号	2011年11月
森登		銅・石版画万華鏡	『日本古書通信』	日本古書通信社	983-984号	2011年4月～2012年3月
森仁史		「<美術>から美術へ—日本に対するアール・ヌーヴォーの位置」	『美術フォーラム21』	醍醐書房	第23号	2011年5月
森仁史		「戦前期日本『工芸』の進運と岐路 1940年ベリアン来日をめぐる諸相」	『シャルロット・ベリアンと日本』	鹿島出版会		2011年11月
森芳功		三宅克己の画業と生涯（二）—御田小学校時代の一年	『徳島県立近代美術館研究紀要』	徳島県立近代美術館	第13号	2012年3月

[明治美術学会 会員業績録 2011年4月1日～2012年3月31日]

柳澤秀行		画家 児島虎次郎	『高梁川』	高梁川流域連盟	69号	2011年12月
柳田さやか		「東京美術学校における小杉樞郎の「書学」講義」	『東アジア書教育論叢』	東京学芸大学書道教育研究会	第1号	2011年12月
柳田さやか		「別冊太陽 日本の書 古代から江戸時代まで」		平凡社	第191号	2012年1月
山口泰二		理想を求めた新星 松本竣介	『花美術館』	花美術館	Vol.19	2011年4月
山口泰二		鳥居敏文の画業と足跡 (9) (10)	『美術運動史』	美術運動史研究会	No.118, 120	2011年6月, 8月
山口順子		「ビゴの作品とその由来の究明」	『来日130周年 宇都宮美術館コレクションによるジョルジュ・ビゴと日光』 展図録	小杉放庵記念日光美術館		2011年12月
山口順子		「太政官日誌の発刊—史料による実態の考察」	『出版研究』	日本出版学会	42号 (2011年度)	2012年3月
山田直子		「足助恒(村娘)について」	『女子美術大学研究紀要』	女子美術大学	第42号	2012年3月
吉崎真弓		『萬朝報』の「端書ボンチ」にみる「国民」「市民」の登場	『芸術学研究』	筑波大学大学院人間総合科学研究科	第16号	2011年11月
吉田大輔		彫像師の悲恋物語と仏師の悲恋物語：内田魯庵訳コンウェイ「彫像師」と幸田露伴「風流仏」	『比較文学』	日本比較文学学会	54巻	2012年3月
吉田千鶴子		〈日本美術〉の発見—岡倉天心がめざしたもの—		吉川弘文館		2011年4月
吉田千鶴子		日中美術交流最盛期の様相 民国期美術へのまなざし・辛亥革命百年の眺望		勉誠出版		2011年10月
吉田千鶴子	山口静一・鎌岡正謹・池田久代	長谷寺所蔵岡倉天心書簡(丸山貴長宛)ほか		茨城大学五浦美術文化研究所	18	2011年11月
依田徹		近代における盆栽飾り—陳列・床の間飾り・展覧会	『さいたま市大宮盆栽美術館 年報・紀要』	さいたま市大宮盆栽美術館	1号	2011年5月
渡部周子		少女たちのSweet sorrow (スキートソロー) —吉屋信子「花物語」単行本未収録作品「からたちの花」について—	『近代文学研究』	日本文学協会近代部会	第28号	2011年4月